

伊東喜昭(1994)：国連海洋法条約の発効，季刊 海洋時報，72号，2-8，日本海洋協会
 J. R. V. Prescott (1985)：The Maritime Political Boundaries of the World, 377p,
 科学技術庁資源調査会編(1984)：海底熱水鉱床，365p
 海洋産業研究会(1975)：日本の経済水域の資源と環境，海洋産業研究資料，6 (1) 84p
 桂 忠彦・島村国雅ほか(1994)：大陸棚海底サンプルの地質学地球化学的研究(その1)，水路部研究報告 第30号 345-381
 K. O. Emery, et al (1969)：Geological structure and some water characteristics of the East China Sea UN, ECAFE Tech. Bull. V. 2, 3-43
 松本 良・奥田義久・青木 豊(1993)：メタンハイドレート，日経サイエンス社，253p
 中尾征三(1994)：海洋鉱物資源，日本海洋協会，153p
 日本海洋協会(1989)：中華人民共和国における海洋事情，104p

日本海洋協会(1990)：大韓民国における海洋事情，83p
 理科年表(1993)：丸善株式会社，1011p
 社団法人資源協会編(1986)：コバルトグラスト鉱床，230p
 東海大学 CoRMC 調査団編(1990)：図鑑海底の鉱物資源，東海大学出版123p
 渡辺一樹・梶村 徹(1993)：水曜海山の地形・地質と熱水鉱床，海洋科学技術センター しんかいシンポジウム報告書，77-89，
 山本草二(1988)：海洋法と国内法制，日本海洋協会，242p

KATSURA Tadahiko (1994)：A history and review of continental shelf surveys —View from Hydrographic Department of Japan—

〈受付：1994年3月7日〉

第6回地質調査所研究講演会「火山，恵みと災害」のアンケートから

本年5月23日，東京・赤坂の三会堂ビル石垣記念ホールにて第6回地質調査所研究講演会「火山，恵みと災害」が開催されました。当日，会場で寄せられたアンケートの結果とご意見の一部を紹介致します。

- ◆講演会参加者総数 275名
- ◆アンケート回答者数 75名

[Q] 今後どのようなテーマの講演会を希望されますか。

(分野)	(内容)		
資源	17	評価・分析技術	31
地球環境	34	探査技術	28
海洋開発	15	成因	21
自然災害	44	その他	2
地質一般	16		
その他	1		

- 化学の理論から見た地球及び地球環境。
- 地球規模で見た生命の誕生。
- 火山・地球における触媒作用。
- 火山とエネルギー開発。
- 地球からみた日本列島の生い立ち。
- フォッサマグナについて。
- 過去の地質現象から予測される災害の中，近い将来起こり得ると思われるものの性状や対策など。

- 地球環境の将来予測。
 - 地熱エネルギー R & D 成果(探査した結果)。
 - 特に化石から考える地球の歴史について。
 - ネオテクトニクス。
- [Q] 講演会についての感想・意見・希望等をお書き下さい。

- 地調の業務がよくわかり良かった。
- もっと国際性のあるテーマで外国人講師を依頼するとよい。
- 雲仙のスライド写真は迫力があり良かった。
- 時代を先行するテーマが望ましい。例えば，地球環境に関するもの。
- 火山・温泉に関する研究動向は興味深く，大変参考になった。
- 中味を一般に分かり易く話して欲しいと思います。
- 国際共同研究について概要発表を。
- 今後の R & D のポリシーと戦略について知りたい。
- 大深度地下開発，ボーリング(学術ボーリング)等の情報を提供して欲しい。

本講演会に参加頂いた皆様と，アンケートにご協力頂いた皆様に御礼申し上げます。

(地質調査所研究発表会運営委員会)